

おカネ \$ \* \$  
知って納得

関西のネーミングライツ（命名権）といえば、サッカー場の「パナソニックスタジアム吹田」（大阪府吹田市）などが有名で、年間の契約額が1億円以上のほろこともあった。だが最近では中小企業でも取得できる、10万円前後の値ごろな案件が出てきた。

その代価が歩道橋だ。大阪市建設局によれば、JR大阪駅と阪急・阪神の梅田駅を結ぶ梅田新歩道橋が年600万円（税込み）以

「命名権」に値ごろ感



大阪府枚方市は図書館のスペースや部屋ごとに命名権を募集した

歩道橋なら年5万円も

下同じ）、大阪・阿倍野の阿倍野歩道橋が年135万円とやや高いが、それ以外は30万円程度となっている。もっとお得な歩道橋はな

いか調べると、郊外にはたぐさんの掘り出しものがあった。和歌山県橋本市が今年初めて募集した歩道橋は年16万5000円から、2カ所で取得した保険代理

店よしの（奈良県五条市）は「大きな負担なく地域に貢献できる」と書く。命名権の価格が下がってきた背景には、募集する自治体間の競争がある。大阪

関西の主なネーミングライツ	
名称	年間価格
パナソニックスタジアム吹田（大阪府吹田市）	2億1600万円※
ロームシアタータワー京都（京都市）	1億円
京都市京セラ美術館（同上）	1億円
ノエビアスタジアム神戸（神戸市）	6200万円

（注）カッコ内は場所。価格は※が税込み、ほかは税別

府京大阪市は市内7カ所の歩道橋について、年5万円からに設定した。隣接する大阪市の水運や車の通行量などを加味したという。もっとも、今のところ成約はゼロだ。従来なら高額になりやすかった体育館や図書館を、部屋やスペースごとに切り分けて募集する自治体も出てきた。丸ごと名前を貸すと利用者に分りにくくなるためだが、取得する側にとっては単価が下がるので手を取りやすい。

大阪府枚方市は市立中央図書館のエントランスホールについて、年6万円（税別、以下同じ）で社会医療法人の美杉会グループ（枚方市）と契約した。同じ図書館の飲食しながら本を読

める読書会コーナーも、別の企業と年3万円を交渉している。

ユニークなのは花瀬（ほな）さんの打出（ひらで）のゴッヂという名称で、滋賀県が開いている文化財講座。年5万円の価格で温泉旅館を運営する国華荘（大津市）のイメージキャラクターの名前に加えて、イラストもまろしなどに載せている。

こうした命名権を取得した中小企業に共通するのは、地元の役に立ちたいという思いだ。償うだけあってあまり自立しないが、名前が出るので満足感を得られる。大規模案件が出尽くして注目が高まった際のある命名権だが、やり方次第で裾野は広がる。（高橋圭介）